

R5年度栃木高校 課題研究Ⅱ ゼミ活動行動評価 ルーブリック(教員使用)

評価項目	内容	到達レベル判定基準		
		受動的な行動	通常の行動	卓越した行動
		評価 1	評価 2	評価 3
主体性 【和信力】	主体的な関わりが見られるか。	・班員の発表に対して、発言をしない。 ・班員からのアドバイスを活かそうとする意思が見えない。	・班員の発表に対して、発言をすることができる。 ・班員からのアドバイスを、自分のポスターに活かそうとしている。	・発表者のポスターをより良いものにしようとする姿勢に溢れ、積極的に発言している。 ・班員からのアドバイスをきいた上で、さらに良いものにするための工夫したり、自分からの働きかけをしたりする。
課題発見力 批判的思考力 【養正力】	班員の発表から課題を見だし、適切に批評できているか。	・班員の発表から課題や問題点を見つけられない。	・班員の発表に課題や問題点を見つけることができる。 ・批判的に発言ができる。	・班員の発表から見いだした課題や問題点が独創的である。 ・的を射た批判的な発言ができる。
提案力 【養正力】	打ち出した改善策の質は高いか。また周囲を説得できているか。	・発表者への提案がない。 ・提案したがわかりにくい説明である。	・発表者への提案が的確であり、分かりやすい説明である。	・発表者への提案が的確で、実現の見込みも高い。 ・巧みな説明である。 ・提案に対して他の多くの班員の納得が見られる。
国際性 多様性の理解 【和信力】	異なる立場からの主張に適切に対応できているか。	・異なる意見や主張を受け入れることができない。	・異なる意見・主張を受け入れているが、納得はしていないことが見て取れる。または意見を鵜呑みにしている。	・異なる意見・主張で受け入れるべきものは受け入れ、自分のものになっている。受け入れられないものは高い論理性で周囲も含めて納得させられる。

※評価する生徒の、5月～10月のゼミ活動全体を通しての総合評価となります。

※評価にあたっては、【生徒の様子(メモ欄)】を参考にして下さい。

※「主体性」は、先生方が生徒を判断する際の総合的な「肌感覚」による見立てが頼りです。

※評価シートは、ゼミ活動(プレゼンテーション演習)終了後、10月下旬に1枚提出してください。